

室内の安全対策

地震による揺れで、室内の家具が倒れたり、ガラスが割れて飛び散ったりすると、家の中が危険な場所になってしまいます。倒れた家具は避難の妨げにもつながります。日ごろから家具を固定するなどの安全対策を講じておきましょう。

また、家の周囲に地震発生時に危険な箇所がないか点検しましょう。建物の耐震性も確認し、気になる場合は専門家による耐震診断や耐震補強を検討しましょう。

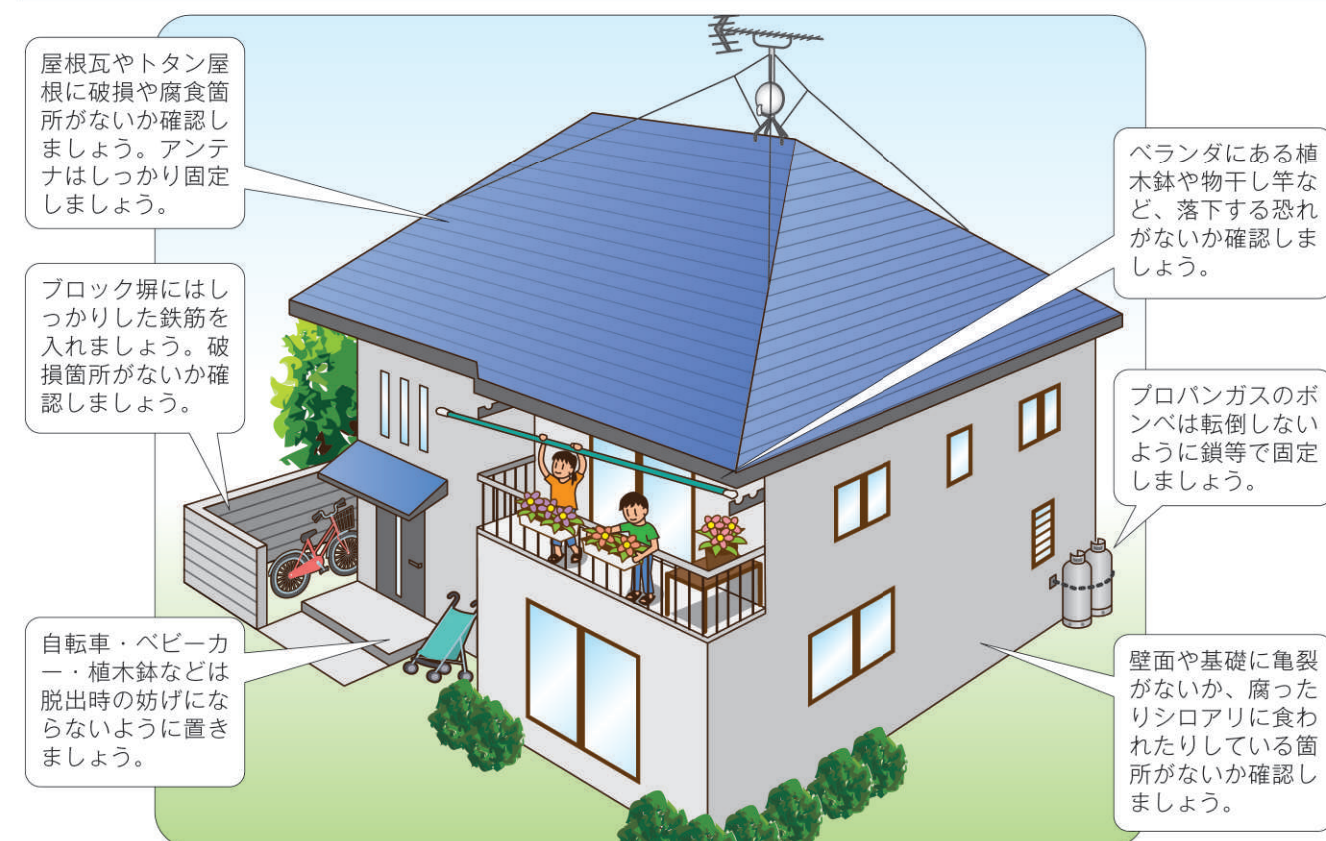
家の中の安全対策のポイント



寝室や出入り口付近の家具を固定できない場合には



屋外の安全対策のポイント



耐震診断を受けましょう

大地震の被害から命を守るためには、住宅の耐震性を高めることが重要です。甲佐町では、住宅の耐震診断及び改修に対して次のような助成を行っています。

町内の昭和56年5月31日以前に着工した木造家屋住宅（一戸建て住宅、兼用住宅）の耐震診断及び耐震改修工事にかかる費用の補助

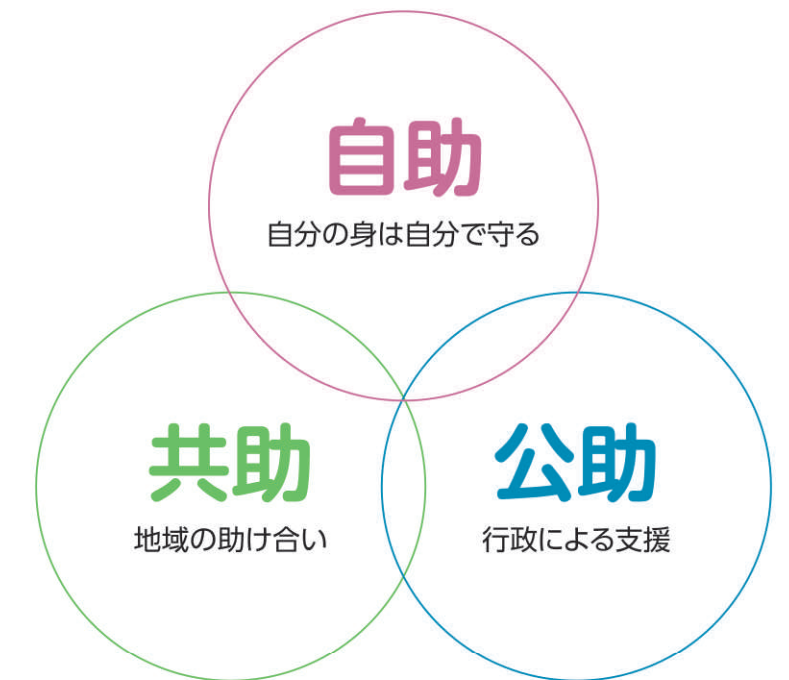
自主防災

自主防災活動

大規模な災害が発生した場合、倒壊した建物で道路が寸断されたり、助けを求める人が殺到したりと消防や救助隊は、すぐに現場に駆けつけることができません。つまり災害時には救出・救護など行政による支援（公助）には限界があります。

そこで、災害時には「自分の身は自分で守る」という自助の精神に加え、「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の精神でお互いに助け合い、連携協力することが大切です。

この助け合いによって組織された「自主防災組織」は、地域ぐるみで防災・減災の観点で活動する重要な働きがあります。「きっと誰かが助けてくれる」ではなく、あなたがまさに防災・減災活動の一員だということを自覚して、災害に強いまちづくりをみんなで目指しましょう。



平常時の主な自主活動内容

●防災知識の普及

地域の防災マップの作成、防災講習会、家庭における水、食料、簡易トイレの備蓄の推進、地域のお祭りや運動会などでの防災イベントの実施など。



●防災資機材などの整備・管理

ヘルメット、消火器、担架、ハンマー、バールなどの救助用工具、非常時の食料品、救急医療品、発電機、投光器などの整備や管理など。



●防災巡視および防災点検

ハザードマップにより危険箇所の把握、燃えやすいものの放置状況、ブロック塀や石垣、看板、自動販売機など倒れやすいものの点検など。

●防災訓練の実施・参加

初期消火訓練、避難誘導訓練、応急救護訓練、情報収集・伝達訓練、避難所開設・運営訓練、炊き出し訓練の実施・参加など。

●要配慮者の避難支援

行政区長と協力し、避難行動要支援者名簿に掲載されている要支援者ごとに安否確認や避難支援を行う避難支援者の割り当てなど。

緊急時の主な自主活動内容

●情報の収集・伝達活動

町などと連絡を取り合い、災害に関する正しい情報を収集し、住民に伝達する。

●初期消火活動

出火防止のための活動や消火器、バケツリレーなどによる初期消火活動など。



●安否確認

近所で声を掛け合い、お互いの安否確認をしながら避難所まで避難する。安否確認の結果は、自主防災組織ごとにまたは、行政区ごとに報告する。



自主防災組織本部

- 地域内の被害状況把握
- 住民の安否確認
- 組織内の連絡調整
- 救援機関への要請など

●避難所の開設・運営

避難所の開設、避難所施設の状況確認、避難者誘導・受け入れ、避難者の居住場所と業務の割り振りなど。

●食料・物資関係

備蓄食料や救護物資の運搬および配布、炊き出しなど。

●救出活動

負傷者や倒壊した家屋などで下敷きになった人たちの救出・救助活動など。

●医療救護活動など

負傷者の応急手当、救護所への搬送など。

